

○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、真亀川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、年超過確率1/10規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



【平成8年】中橋付近浸水状況



【平成8年】中橋付近浸水状況



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・河道拡幅、橋梁改築、堰改築
 - ・護岸補修
 - ・堆積土撤去（河川）
 - ・堆積土撤去（調整池・調節池）
 - ・「粘り強い堤防」を目指した堤防強化（津波対策完了）
 - ・利水ダムの事前放流
 - ・水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
 - ・ため池やクリークの治水活用
 - ・開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・立地適正化計画の策定支援

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・洪水浸水想定区域図（公表済）
 - ・洪水ハザードマップ（公表済）
 - ・危機管理型水位計、河川監視カメラ
 - ・水害対応タイムラインの活用
 - ・マイ・タイムラインの作成支援
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
 - ・事業継続計画（BCP）の策定
 - ・不動産取引時の水害リスク情報提供



橋梁改築（中橋）



事前放流（東金ダム）

- 【凡 例】
- 流域界
 - 河川改修
 - 堤防強化（津波対策完了）
 - 利水ダムの事前放流
 - 調整池・調節池（整備済）
 - ため池水位調整実施
 - 危機管理型水位計
 - 河川監視カメラ
 - 浸水想定（計画規模1/50）

- 真亀川水系では、県、市町が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短 期】河川における対策として、真亀川の中流域で中橋の改築を推進するとともに、下流域（河口～北幸谷川合流点）で堆積土撤去を実施する。
 - 【中 期】中橋の改築完了後、真亀川の中流域（中橋～田間2区排水路流入部）で河道拡幅及び橋梁改築等を推進する。
 - 【中長期】引き続き、真亀川の中流域（中橋～田間2区排水路流入部）で河道拡幅及び橋梁改築等を推進し、真亀川の事業区間について整備完了を目指す。
- あわせて、東金ダムにおける事前放流や雨水を一時的に貯留する田んぼダム、ため池等の治水利用を促進するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、橋梁改築、堰改築	千葉県	中橋の改築	中橋～田間2区排水路流入部	
	護岸補修	東金市		継続して実施	
	堆積土撤去（河川）	千葉県	河口～北幸谷川	定期的に実施予定	
	堆積土撤去（調整池・調節池）	東金市	3箇所実施		
	利水ダムの事前放流	水資源機構		継続して実施	
	水田を活用した一時貯留（田んぼダム）	集落活動組織等		千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進	
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等		千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進	
	開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導	関係市町		継続して実施	
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定支援	千葉県		策定・見直し支援	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	運用状況の検証・定期的に更新予定		
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市町		運用実績の検証	
	マイ・タイムラインの作成支援	東金市、大網白里市		継続して実施	
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援	東金市、大網白里市		継続して実施	
	事業継続計画（BCP）の策定	東金市、大網白里市		随時見直しながら実施	
	不動産取引時の水害リスク情報提供	大網白里市		継続して実施	

【事業費(R3以降の残事業費)】
■河川対策
全体事業費 30.2億円
河道拡幅、橋梁改築等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進